市民公益活動を支援します！
CNSuita
市民ネットすいた Civil Network Suita
ニュース No.16
発行日　2015(平成27)年9月1日
発行所　NPO法人市民ネットすいた

10～15 年後の吹田のために 行政も地域も「協働」で進化する！

NPO 法人市民ネットすいた総会記念講演 川北秀人氏「データが示す吹田の未来」より

IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］
代表　川北 秀人さん

1964 年大阪生まれ。87 年に(株)リクルートに入社し、広報や国際採用などを担当して 91 年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94 年にＩＩＨＯＥ設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任（CSR）への取組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進め、毎年約 60 の自治体で職員や市民との合同研修を担当している。

自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために協働と総働の基礎を再確認する

まちづくりは、人「交」密度を高めること

終戦直後から人口減少や高齢化が続いてきた日本海側や中山間地ではNPOの活躍を待っ余裕はありません。21 世紀に入って、市民活動も、自治会などの地域づくりも、イベント型からサービス型へと進化しつつあります。まちづくり・地域づくりも「スーパーカリスマリーダー」がいないとできない、では困ります。「普通の人が、まちづくり・地域づくりを担えるしくみづくり」が大切です。「町」でも「街」でもなく「まち」をつくるということは、人「交」密度を高めること。「あのまちにもう一度行きたいな」というところは、地域の内側にも外側にも人「交」密度が高いと言えるでしょう。

人も、インフラも、同時に高齢化が進む

日本では二つの高齢化が、同時に進んでいます。一つはひとの高齢化。もう一つは、建物・道路・橋などインフラの高齢化。耐用年数が迫っています。

2012 年 12 月に笹子トンネルの天井が落ちましたが、現在のインフラの多くは、東京オリンピック（1964 年）や大阪万博（70 年）の前後に施工されており、法定耐用年数の 50 年を超えたものもあります。これらの補修費用は、2020 年から 10 年間で 140 兆円と試算されていますが、今年の国の予算は 94 兆円、うち公共事業費は 9 兆円余り。将来の補修費用（年間 14 兆円）は、いわば隠れ借金です。吹田市ではどれだけ基金で準備できているでしょうか？東京都府中市では、市長が地区単位で見通しを説明して回った結果、「こうしたらもっと長持ちできる」といった提案が、市民から出てくるようになったと言います。

世界の中の日本の経済的存在感は下がり続ける

1968（昭和 43）年に、日本は世界第二位の経済大国になりました。GDP世界シェアも、94（平成 6）年には約 18％に達しました。しかし、2010 年に中国に抜かれ、2020 年には中国のGDPは日本の 3.2 倍になると、IMF（国際通貨基金）は予測しています。

同じく IMF は、2020 年の日本のGDPの世界シェアは 5%。中国 17%、インド 3%、アセアン諸国(タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの 5 カ国) 3%、中国・インド・アセアン諸国合わせて 23%になり、アメリカや EU をも上回ります。2020 年のアセアン 5 カ国の国民一人当たりGDPは 12,987 ドルと、日本の 1987(昭和 62)年の水準に達します。未来の日本を支える子どもたちは、今以上の国際化を視野に、途上国でも活躍できる力が必要です。市民も行政も20 世紀のしくみや考え方のままではダメ。絶えず進化しないと。国際交流は文化だけでなく、経済からも不可欠なのです。

吹田市は加速度的な「多老化」にどう備えるか？

吹田市の高齢者・後期高齢者のくらしは？

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年
人口(人)	353,885	355,798	355,111	351,073	343,578
高齢者	57,131	70,183	84,693	90,741	92,465
後期高齢者	22,253 6.3%	30,365 8.5%	38,926 11.0%	47,319 13.5%	56,817 16.5%
世帯数	149,525	154,702	156,680	156,049	153,286
高齢者単身	11,337 2885+8452	14,539 3720+10819	17,914 4595+13319	19,391 4980+14411	19,860 5104+14757
後期高齢者単身	5,361 1205+4156	7,518 1585+5933	9,768 1994+7774	11,953 2401+9552	14,399 2869+11530
後期単身率	24.1%	24.8%	25.1%	25.3%	25.3%
高齢者夫婦	9,979	12,592	15,396	16,604	16,974
後期 夫婦	2,314	3,719	5,127	6,452	7,878
高齢世帯率	14.3%	17.5%	21.3%	23.1%	24.0%
後期世帯率	5.1%	7.3%	9.5%	11.8%	14.5%

これまで「高齢化」とは、65 歳以上の人たちが増えることを問題にしていました。しかし 2010 年の国勢調査と介護保険利用実績を見ると、65～69 歳の人のうち要介護 3 以上の人は 1%未満と、まだまだ現役で活躍できる。しかし 85 歳以上の人は、要介護 3 以上の人はおよそ 4 人に 1 人。しかも今後、15～64 歳の生産年齢人口はさらに減少するため、子育ても介護もしながら仕事をする、つまり生産性を革命的に上げなければなりません。

吹田市(上表参照)では、後期高齢者(75 歳以上)の世帯が占める比率が 2005 年には 5.1%(20 軒に 1 軒)だったのに、15 年には 10 軒に 1 軒、25 年には 7 軒に 1 軒になると予想されます。後期高齢者の単身(独居)率も、便利であるがゆえに全国平均より 5%以上高く、独居者は 2010 年の 7 千 5 百人が、25 年には 1 万 4 千人以上へと、2 倍以上に増えると予測されます。みなさんがこれまで経験してきた高齢化とは、まるで異なる水準の問題です。

吹田市行政の決算を見ると、職員数は 2005 年から 13 年までの 8 年間に 19%削減され、給与額も減少しました。逆に生活保護などの扶助費が大幅に増え、介護保険等の操出しも増えています。高齢者、特に 85 歳以上が加速度的に増えるのに、今のままでは無理です。さらに、「市内の地域ごと」に高齢化率や 18 歳未満の同居世帯率を見ると、人口構成の多様さがあることも見落とせません。地域の持続可能性を高めるためには、行政もNPOも自治会も「地域ごと」のニーズに基づいた対策や取り組み、活動が不可欠なのです。

事例 1、北海道十勝・浦幌町

この 20 年に人口がほぼ半減した町で、小中学生に「このまちは何によって支えられているか」を理解し自分の言葉で考え、話せるようになるために、年間 50 時間以上かけて農畜漁林業の生産・販売を体験。子どもたちの世代が、誇りを持ってくらし、働くため、地域と学校と行政が総力を挙げて連携する「町おこし授業」を行っている。大阪の府立高校が相次いで修学旅行先に訪れ同じ体験をしています。

事例 2、那覇市・真地(まーじ)団地自治会

1981 年開設 400 世帯の市営住宅で自治会が自動車 1 台を購入し、乗り合いやボランティアなどによる移動支援を行うとともに、独居高齢者を住民同士で見守る。2011 年からは集会所でのお茶飲み、「100 円昼食会」、カラオケと、週 3 日・年間 50 週、計 150 日の「外出のきっかけづくり」も進めています。

官民連携で「地域の未来を考える」きっかけを

国にも自治体にも財源の余裕はなく、「消費する自治」「おまかせ自治」は許されません。市民自治を立て直すには、個々の市民の意欲と機能と力が必要です。「なぜ自分たちが？」よりも「これからどうなる？」を考えるべきです。行政も、各地域の特性・課題に即した対応が必要なのです。地域の総力を挙げた総働を実現するために、データをもとに「各地域が未来を考える」きっかけづくりを、市民と行政の連携で進めましょう。

(以上、講演会内容抜粋で記載。)

笑顔を届ける活動と仕事

ラコルタ職員
千里市民フォーラム
千里キャンドルロード
伊富貴　順一

この 4 月より吹田市立市民公益活動センター（ラコルタ）の職員として働いております。ラコルタに来る前は、建築・建設コンサルト事務所で、技術士（都市計画）として働いておりました。前職と異なる職種に就いて両親は驚いておりますが、吹田の市民活動や地域活動を少しでも盛り上げていく力になれたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

市民活動には、千里市民フォーラムという団体に 10 年来関わっております。そこでは、千里ニュータウンに関わる市民、NPO、行政職員、学識経験者など様々な立場の方が参加し、情報交流のサロンを月1回開催しています。

また、4 年前からは千里キャンドルロードというイベントの実行委員会に参加しています。当イベントは、千里ニュータウンの 50 周年を機に始まりました。千里ニュータウンの次世代に何か残していこうということで千里ニュータウンの人口と同じ9万個のキャンドルを灯すイベントを毎年秋に開催しています。

2012 年 11 月 千里キャンドルロードの様子

千里市民フォーラムや千里キャンドルでの活動を通じて感じるのは、地域を活性化していくためには、多様な世代が交流する仕掛け作りが大切だなということです。

今後も、関わっている活動やラコルタの仕事を通じて、多世代が交流し、市民に笑顔を届けるお手伝いができたらと思っています。

新たな地域社会に！

吹田防災士会
木村　　裕

25 年前に約 8 年間、地区の連合自治会長をやらせて頂いたことがあります。その頃の自治会活動は主に盆踊りと運動会さえやっていればよい時代でした。ところが、平成 2 年に国が高齢者対策としてゴールドプランを策定し、それに合わせて自治会も地区内の高齢者対策の取組みを始め、また平成 7 年には阪神淡路大震災の発生により防災対策が新たな活動に加えられ、その後校区内でのマンション建設等による新住民誕生で、孤立した子育て対策をも新たな活動に加えられ、自治会活動は様々な内容を呈してきています。

自治会役員の輪番制は多くの住民が自治会活動に関わるために是非必要なことであります。さらに地域活動の継続性を考慮すれば、十数年も役員を続けることは避けなければなりません。

地域社会で効果的・持続可能な活動を続けるには子育て・高齢社会や防災対策等の専門的に活動を続けるNPOを始めとした、いわゆるテーマ型の活動が期待されており、地元自治会との融合・連携や地元での新たな成育が求められています。

パソコンやスマホ等、時代に即した情報ツールを十分に活かしながら、地縁型・テーマ型の市民活動の新たな情報発信の方法を模索しながら実践に移し、地域で生き続ける日々の私たちを応援する活動を続けて行きたいと考えています。

2015 年通常総会の報告

去る5月30日、当法人の通常総会を開催しました。正会員 58 名中 37 名の出席（委任状 12 名、議決権行使書 3 名を含む）で以下の議案を審議していただき、全ての議案が原案通り承認されました。

第 1 号議案　前年度事業報告承認に関する事項
第 2 号議案　前年度決算承認に関する事項
第 3 号議案　今年度事業計画承認に関する事項
第 4 号議案　今年度予算承認に関する事項
第 5 号議案　定款の変更
第 6 号議案　役員選任の件

市民ネットすいた全役員

「総会記念講演会」の様子

大阪府の市民公益税制がスタート！

昨春から 3 回にわたりこの紙面で経過を報告した大阪府の市民公益税制について、朗報をお伝えします。

大阪府が条例で指定した NPO 法人に大阪府民が寄付をした場合に府民税の一部が控除される市民公益税制（いわゆる 4 号条例）が、6 月 1 日から施行されました。寄付者は、寄付額から 2,000 円を控除した額の 4%を府民税額から控除されます。

そこで、今回この税制について詳しくお伝えします。

まず、この税制の適用を受けるには、次の条件を満たす NPO 法人が大阪府に条例で指定されるための申請をします。ただし、欠格事由があり注意が必要です。

【申請するための条件】

① 大阪府内に事務所を有していること
② 情報発信要件（法人の活動について、積極的かつ適切に情報を発信し、更新していること）
③ 寄附金要件（総収入に占める寄附金収入の割合が 1/5 以上　又は年 3,000 円以上の寄附者が年平均 50 人以上）
④ 協働要件（さまざまな団体と協働して、府内の地域課題の解決に向けた活動を行っていること）
⑤ 事業活動において、共益的な活動の占める割合が、50％未満であること
⑥ 運営組織及び経理が適切であること
⑦ 事業活動の内容が適正であること
⑧ 情報公開を適切に行っていること
⑨ 事業報告書等を所轄庁に提出していること
⑩ 法令違反、不正の行為、公益に反する事実等　がないこと
⑪ 設立の日から 1 年を超える期間が経過していること、

そして、大阪府の審査を受けた後 2、5、9 月の年 3 回の議会に諮られ、条例の中で指定されます。

認定 NPO 法人へのステップアップの一里塚として指定を目指してください。

7 月に匿名様から 1 万円の寄付をいただき、ありがとうございました。

編集後記◎温暖化・異常気象ながら秋の気配。◎1～2ページの川北先生の記念講演記事、見出しから本文まで、一字一句、より読みやすく解かりやすくと、先生ご本人から丁寧に修正いただきました。◎行政や議会任せでなく、多様な市民が参画した市民力がないと、「より良い吹田の未来」は描けません。◎4 面では、ＮＰＯ法人への寄付に対する税額控除、およびＮＰＯ法人の資格など市民公益税制について紹介しました。◎「ラコルタニュース」と併せてご愛読、ご意見などお待ちしています。

CNSuita ニュース
NPO法人　市民ネットすいた
(吹田市立市民公益活動センター指定管理者)
ホームページ　市民ネットすいた　も検索ください
事務局　〒565−0862 吹田市津雲台1−2−1
千里ニュータウンプラザ6階
TEL　06−6875−7459
FAX　06−6875−7461
E−MAIL　mail@cnsuita.com
情報のご提供、ご意見などお寄せください。